

第4回 攻めの農林水産業実行本部 議事概要

日時:平成 27 年1月 15 日(木曜日) 11 時 10 分～11 時 30 分

場所:農林水産省 第一特別会議室

出席者:(本省)西川大臣、あべ副大臣、小泉副大臣、中川大臣政務官、事務次官、
官房長、総括審議官、技術総括審議官、統計部長、検査部長、消費・安全局長、食料産業局長、生産局長、経営局審議官、農村振興局長、農林水産技術会議事務局長、林野庁長官、水産庁長官
(地方農政局等)東北農政局長、関東農政局長、北陸農政局次長、東海農政局長、近畿農政局長、中国四国農政局長、九州農政局長、北海道農政事務所長、北海道開発局次長、沖縄総合事務局農林水産部長

概要:

(西川大臣)第4回の「攻めの農林水産業実行本部」の開催に当たり、一言挨拶申し上げます。

今般、平成26年度補正予算、平成27年度予算等が決定されたところ。次は、予算をはじめとするこれら施策の実行、実現に向けて、速やかに動き出してほしいと願っている。

その際、それぞれの品目や分野が持つ課題について、各部局でしっかりと議論し、課題解決に向けてどのような施策を行おうとしているのかをしっかりと整理した上で、その内容について、農業者の皆さんに分かる言葉で、伝えてほしいと願っている。現場との連携を密にして、この考え方を周知・徹底していただきたい。

今回は、各施策の実行に向けた取組の一つとして、輸出促進に向けた輸出検疫協議の状況について報告いただきたいと考えている。

また、農林水産業において、食の安全は重要な土台となるものであるが、本省と地方農政局が連携した取組として、この冬における鳥インフルエンザ発生に際しての対応を、本省と現場の地方農政局、それぞれの立場から今日のご報告いただきたい。

「農林漁業者の所得の向上」及び「地域のにぎわい」の実現に向けて、それぞれの施策の課題について、どう取り組むかを念頭に置きながら、今年1年がんばっていききたいと思っているし、この実行本部が効果を上げていくということで目標に向かって全員で取り組んでまいりたいと考えている。活発な御議論をお願いし、挨拶としたい。

≪議題1 「攻めの農林水産業」の実行状況報告について総括審議官から説明≫

「議題2「輸出促進に向けた輸出検疫協議の状況について」及び議題3「今冬の鳥インフルエンザの発生について」について、消費・安全局長及び九州農政局長から説明。」

(西川大臣)

輸出促進に向けた動植物検疫の協議だが、各地域でまだ68ヶ国が輸入を拒否していると、皆、理解していると思う。これだけ努力して、検疫条件の緩和あるいは解禁されたなど良い事例が出ているので、資料「輸出促進に向けた輸出検疫協議の状況について」の1頁については、関係機関に送付すればよいと思う。

(小林消費・安全局長)

関係機関に送付し、共有する。検疫協議に際しては、輸出したいので相手国に検疫協議に応じてくれと言っている。このような中で、検疫を開けたけれど輸出できないということになると、次からの品目になかなか相談に乗ってもらえないようなことになる。したがって、検疫を開けた以上は実績を作っていきたいと思っているので、よろしくお願いする。

(あべ副大臣)

輸出促進に関してだが、農林水産省も頑張っているが、外務省に、特に在外公館の大使たちにどのようにアプローチしているかという報告をさせる方がいいかなと思うが、そこはよろしくお願いする。また、政務三役が各省から外に出て行くときにも、このことを必ず入れるように各省にもインプットしていく必要があると思うので、そこも是非ともよろしくお願いしたい。

(櫻庭食料産業局長)

外務省の在外公館課あるいは経済局と普段から交流している。特に外遊されるときには、必ずこうしたことは言うていただくこととしており、これは総理を先頭にやらせてもらっている。また、昨年のお大臣のご指示のあと、在外公館にお米を送らせてもらった。その報告も来ているので、外務省から情報を取り寄せて、まとめて報告したい。

(皆川事務次官)

今の点だが、今回、11月までの統計で、農林水産物の輸出額がほぼ過去最高値を更新すると言われている。年の統計が出た段階で、それに向けて今度の課題も含めて、次官連絡会議で発言したい。どういう課題があり、各省にどういうお願いをしたか。あべ副大臣が仰ったように、外遊するときは盛り込んで欲しいとか、年の統計

が出た時をチャンスに次官連絡会議で説明をして、各省に協力を求めていきたいと思っている。いつごろデータが出る予定か。

(櫻庭食料産業局長)

年の統計は2月10日前後に出ると聞いている。2013年は史上最高の5505億円であった。2014年は1-11月期で5482億円。前年比で11.1%増である。うまくいけば初めて6000億の大台に乗る可能性。したがって、2016年に中間の7000億円の目標をつくっているが、できるだけ前倒しに進めるようにしたいと思っている。

(小泉副大臣)

輸出に関しては、オールジャパンで窓口を一本化して取り組んでいただいているが、各農協の声として、自分のところのものも売り込みたいとの声も聞く。そういう部分で情報収集を細かくやってもらえればもっと効果が上がってくると思う。

(櫻庭食料産業局長)

全国協議会、県単位の協議会があり、それから各団体、JA関係の団体もある。しっかり情報交換して、対応していきたいと思う。PRもしっかりしていく。

(西川大臣)

本日はありがとうございました。課題等について、今整理中だと思うが、特にいい事例については、早く、関係農業者をはじめ、関係機関に発信していただきたい。先日(1月13日)地方農政局長・森林管理局长会議に出席したが、非常に意欲のある取組がたくさん紹介された。こういうことを全国に発信していただいて、農林水産業が成長産業なんだという自信をみんなで取り戻す年にしていきたいと思うので、職員の皆さん、特に皆川次官をはじめ幹部の皆さん、是非そういうことを職員全員にこの気持ちを行き渡るようにお願いして私の挨拶としたい。

(以上)